

広域保護管理における保護管理ユニットの変更に向けた検討

クマ類は、他の大型哺乳類に比べて生息密度が低く、かつ繁殖率が低いこと、個体群の分布範囲が広く、都府県境をまたいで分布する個体群が多いこと、さらに近年では数年に一度大量出没が発生し、捕獲数が増加することなどの特徴を持っている。

昨年度、環境省において、全国のツキノワグマの地域個体群について、自治体の協力を得て生息状況等の最新の情報を取りまとめた（図1参照）。

保護管理ユニットとして連携を要する範囲の境界については、その考え方を現行のガイドラインで示しているが（表1参照）、現時点の生息状況と関係する自治体の行政管理上の効率性等を考慮し、この境界の一部を変更することについて、今後検討を行っていききたい。

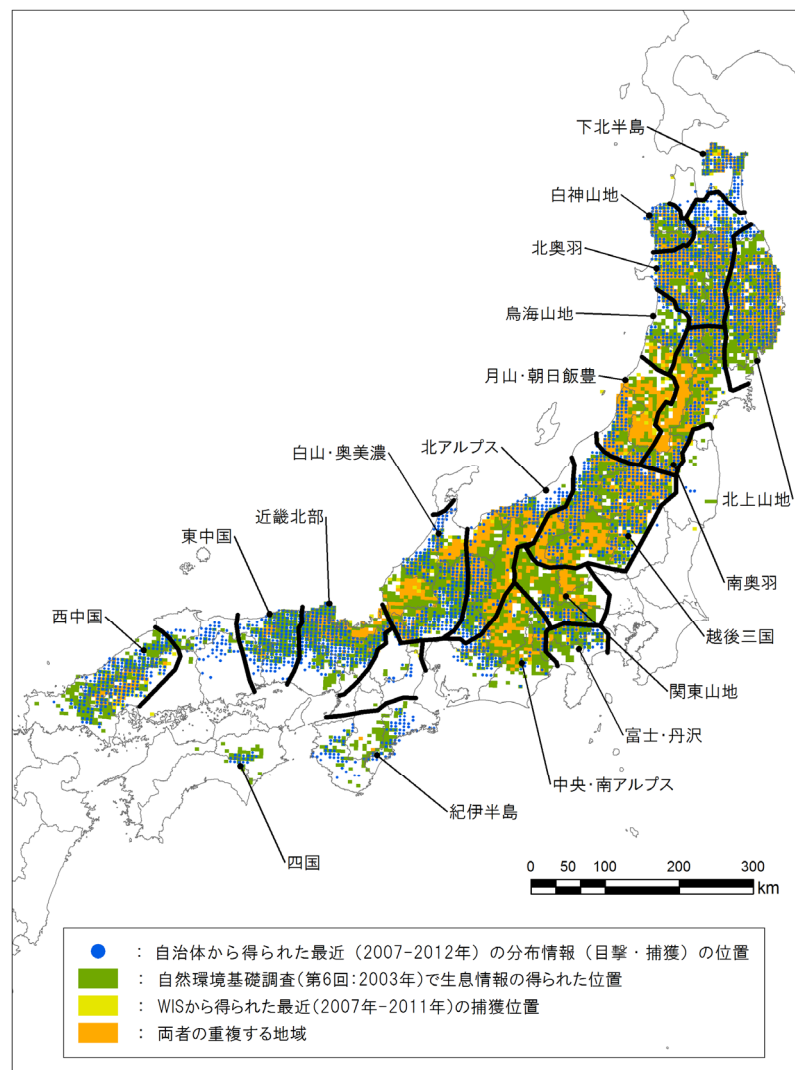


図1 近年のクマ類の分布情報と保護管理ユニットの状況
(分布情報は、自治体から得られた情報を元に独自に作成した)

表1 ツキノワグマの保護管理ユニットの境界線

保護管理ユニット	保護管理ユニットの境界概要				備考
	北	東	南	西	
1. 下北半島	海岸	海岸	東北本線	海岸	
2. 白神山地	津軽平野（分布空白域）	矢立峠（東北自動車道）	米代川	海岸	
3. 北上山地	八戸低地（分布空白域）	海岸	仙台平野（分布空白域）	北上側－東北線	
4. 北奥羽	東北本線	東北本線－北上川	和賀川－秋田自動車道	秋田平野（秋田自動車道）	
5. 鳥海山地	秋田平野－横手盆地	雄勝峠－国道13号線	最上川	海岸	
6. 月山・朝日飯豊	最上川	最上川－国道121号線	会津盆地－阿賀野川	海岸	
7. 南奥羽	和賀川－秋田自動車道	北上川－海岸－阿武隈川	磐越西線	国道121号線－最上川－国道13号線	
8. 越後三国	磐越西線－阿賀野川	東北本線（福島－栃木－群馬東部分布空白域）	利根川－千曲川（信濃川）	新潟平野	
9. 北アルプス	海岸－新潟平野	千曲川－犀川－木曽川	濃尾平野	長良川－国道158号線－高山－宮川（神通川）	
10. 白山・奥美濃	海岸－金沢平野－北陸自動車道	神通川（宮川）－高山－国道158号線－長良川	濃尾平野－東海道線	北陸自動車道（米原－敦賀）	
11. 関東山地	千曲川－碓氷峠－利根川	関東平野（分布空白域）	中央自動車道（八王子－諏訪）	犀川（長野道）	
12. 富士・丹沢	中央自動車道（八王子－甲府）	関東平野（分布空白域）	神奈川南部低地（分布空白域）	富士川	
13. 中央・南アルプス	中央自動車道（甲府－諏訪）	富士川	静岡－愛知南部（分布空白域）	木曽川	
14. 近畿北部	海岸	北陸自動車道（米原－敦賀）	京都－兵庫南部（分布空白域）	円山川－播但連絡道路	
15. 東中国	海岸（豊岡盆地）	円山川－播但連絡道路	兵庫南部－岡山南東部（分布空白域）	国道179号線（分布空白域）	
16. 西中国	島根北西部低地（海岸）	国道314号線（分布空白域）	岡山南西部－広島南部低地（分布空白域）	国道490号線－山口盆地（分布空白域）	孤立分布域
17. 紀伊半島	奈良盆地－伊勢平野（分布空白域）	紀勢本線（海岸）	和歌山南部（分布空白域）	和歌山東部（分布空白域）	孤立分布域
18. 四国	分布確認は徳島－高知県境の剣山周辺のみ				孤立分布域
19. 九州	1950年代以降、確実な野生個体の観察・捕獲記録はない（地域的絶滅と考えられている）				